

鴻池運輸、Helical Fusion に出資

次世代クリーンエネルギーへの挑戦を支え、持続可能な社会の実現に貢献

鴻池運輸株式会社（本社：大阪府中央区、代表取締役会長兼社長執行役員 鴻池 忠彦、以下 鴻池運輸）は、フュージョンエネルギー（核融合発電）の実用化を進めるスタートアップ企業 株式会社 Helical Fusion（本社：東京都中央区、代表取締役 CEO 田口 昂哉、以下 Helical Fusion）への資本参加を行いましたので、お知らせします。

1. 出資の背景と目的

フュージョンエネルギーは、海水由来の燃料を用いるクリーンエネルギーとして注目されており、実用化が実現すれば、従来の発電方式の課題を抜本的に解決する次世代エネルギーとして、日本の基幹産業となる将来性が期待されています。また、日本政府は、「フュージョンエネルギーイノベーション戦略」を掲げ、2030年代のフュージョンエネルギーによる発電実証を目指し、官民連携による取り組みを加速させる方針を示しています。

Helical Fusionは、核融合科学研究所における、長年の研究成果を基盤として2021年に設立されたスタートアップです。日本独自のヘリカル方式（Helical Stellarator）の技術を用いた、世界初のフュージョンエネルギーの実用化を目指しています。

鴻池運輸は、物流・製造請負・エンジニアリング・医療関連サービスなど、社会の基盤を支える多様な事業を展開しており、脱炭素社会の実現やエネルギー安定供給への貢献を、重要な経営課題の一つと位置付けています。今回の出資は、将来のエネルギー供給構造の変化を見据え、次世代クリーンエネルギーの実用化に向けて取り組むHelical Fusionの挑戦を支援するとともに、当社グループの事業活動における、安定的かつクリーンなエネルギー調達の可能性を探ることを目的としています。

2. 今後の展望

鴻池運輸は、今後も次世代技術を有するパートナーとの共創を通じて、社会インフラを支える企業としての責務を果たすとともに、持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

3. 鴻池運輸 代表取締役会長兼社長執行役員 鴻池 忠彦コメント

フュージョンエネルギーは、革新的な技術を通じ、従来の発電方式を大きく換え、将来的には日本の新たな基幹産業になり得ると考えています。石油等の資源を他国に依存する日本にとって自前のエネルギー源を確保することの意義は大きく、社会情勢や地政学的なリスクに左右されないエネルギーの安定供給は、社会インフラを支える当社にとっても重要課題です。また、当社の物流事業においては、常温倉庫と比較し消費電力量が多い冷凍・冷蔵倉庫の電力に活用し、CO2削減につなげる等の環境負荷の軽減も期待できます。Helical Fusion社への出資を通じて、安定的で環境に優しいエネルギー基盤の開発による社会課題解決に貢献できればと思います。

【会社概要】

■株式会社Helical Fusion

所在地：東京都中央区銀座1丁目12番4号 N&E・BLD 6F

設立：2021年10月

事業内容：ヘリカル型商用核融合炉の製造設計及び技術開発

経営陣：代表取締役CEO 田口 昂哉

URL：<https://www.helicalfusion.com/>

■鴻池運輸株式会社の概要 (<https://www.konoike.net/>)

KONOIKE グループは、物流の枠を超え、製造、医療、空港業務などを通じ、社会課題の解決と革新に挑戦し続ける、プロフェッショナルサービス集団です。

商号	鴻池運輸株式会社 ※東証プライム市場	代表者	代表取締役会長兼社長執行役員 鴻池 忠彦
大阪本社	大阪市中央区伏見町 4-3-9	東京本社	東京都中央区銀座6-10-1
創業	1880（明治13）年5月	会社設立	1945（昭和20）年5月30日
資本金	1,723百万円	従業員数	約25,000名（連結） ※臨時雇用者数を含む
売上高	344,987百万円（連結）	営業利益	21,385百万円（連結）
事業内容	鉄鋼事業、エンジニアリング事業、食品関連／定温物流事業、食品プロダクツ関連事業、生活関連事業、メディカル事業、空港事業、国際物流事業、インド事業		

※資本金、売上高、営業利益、従業員数：2025年3月31日現在

●本ニュースリリースに記載されている会社名および製品・サービス名は、各社の登録商標または商標です。

（報道関係者様お問い合わせ先）

鴻池運輸株式会社 広報室 古屋、^{とね}刀根、^{よしたに}葭谷 tel:03-3575-5753